

「書物・出版と社会変容」研究会 活動記録

第百一回 二〇一五年十二月五日

鹿児島大学教育学部第二講義棟3階講義室B

鹿児島大会

大淵貴之 「文之玄昌の詩作参考書」

浜島実樹 「書物を介した宣教師の日本人観―フランシス

コ・ザビエルの鹿児島布教を中心に―」

丸山翔太 「都城島津家の学問所明道館の書物集積に関する一考察」

第百二十九回 二〇一五年十月三日 一橋大学職員集会所

吉川紗里矢 「近世後期江戸幕府老中における「御覚之控」

の作成・収集・編纂」

吉川裕 「伊東藍田『徂徠先生墓碣及誌』とその役割

について」

第百二回 二〇一六年一月九日 一橋大学佐野書院

小田真裕 「福岡藩士吉村千春・千秋父子と書物―国学研

究の視点から―」

吉村雅美 「皆川淇園の学問と藩政―平戸藩主松浦静山・

藩士長村内蔵助を中心に―」

第百回 二〇一五年十一月七日 一橋大学佐野書院

ファンステインバル・ニールス
Van Steenpaal, Niels 「書評 横田冬彦編『読書と読者』(平

凡社、二〇一五)」

佐藤温 「書評『シリーズ本の文化史』巻2「書籍の

宇宙の見取図から見えるもの―近世書籍研

究の可能性」第十五回「魇奇会」

(文責・鈴木淳世)